



名称	石仏
よみがな	せきぶつ
指定	市指定
種別	史跡
種類	遺跡
所在地	本郷町善入寺
所有者	個人
員数	—
指定年月日	昭和 54 (1980) 年 4 月 1 日
構造形式	石
法量	高さ約 32 cm 幅約 21 cm
時代	不明 (天文廿年の刻印あり)
公開状況	公開
交通案内	J R 本郷駅から車で約 15 分 県道 59 号沿い

【解 説】

高さ約 32 cm、幅約 21 cmの坐像とみられる仏身が岩塊に彫られたもので、両脇には「天文廿年十月十二日」の刻印があります。

室町時代の僧一休禅師が旅の途中でここを通り、後々ここは魔物が生じる場所なので、岩に仏を自から彫ったといわれます。また、歌を詠んで亡霊を鎮めたという説話や、一休禅師がかみ砕いて吐き出した一匹の鯉が川で何匹もの柳鮠（やなぎはや）になって泳いだという伝説も語り継がれています。